

DIGITANA
SLS

SHIMANO

取扱説明書

LEVER DRAG 2SPEED 5000/6000

このたびは、シマノデジタナSLSシリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚取りの精度が釣果の決め手となります。
そこで、デジタナSLSシリーズでは、シマノ独自のSLS（シマノ・ラインプログラム・システム）を搭載。より正確な棚取りを可能にしました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存してくださいませようお願い申し上げます。
この取扱説明書では、レバードラグ2スピード5000のイラストで説明をしています。レバードラグ2スピード6000も操作手順は全く同様です。

1 S L S (シマノ・ラインプログラム・システム) を搭載。すばやく、正確に棚を狙えます。

シカケの落下速度が速く、スリップから生じる誤差がないローラーレスのS L Sシステム。実測値をプログラムでインプットしますのでだれでも簡単に操作できます。

2 3種類のデータを同時に表示する、充実の液晶表示部。

大きくて見やすい「現在の水深」表示。

底と棚の2つの水深をメモリーできます。

3 シマノデジタナシリーズだけの簡単操作。

正確な水深を表示させるための0セットシステム。

アラームで竿を上げればシカケが手元にくる船ベリアラーム。

高切れをしても安心な、ワンタッチ高切れプログラム補正システム。

精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。
(100m以上は1m単位)

ファインセラミックガイドリング採用のD D L
(ダイレクトドライブレベルワインド)。

ラインのからみにくい新設計レベルワインド。

レベルワインドで指をはさむのを防止する、セーフティレベルワインドカバー。

デジタルカウンターの各部の名称

学習表示

糸巻学習の入力時、
0セット時に点灯
します。

OK表示

糸巻学習完了時、
0セット時に点灯
します。

棚メモボタンを
押したときの水深を
表示します。

底メモボタンを
押したときの水深を
表示します。

現在の水深を表示
します。

0セット時に点灯
します。

底メモボタン

底メモの欄に押した
ときの水深を表示します。
(11ページ参照)

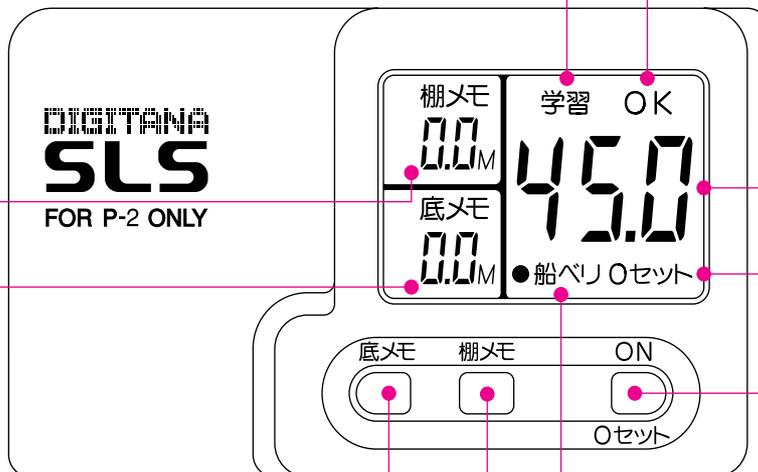
棚メモボタン

棚メモの欄に押したときの水深を表示します。
(11ページ参照)

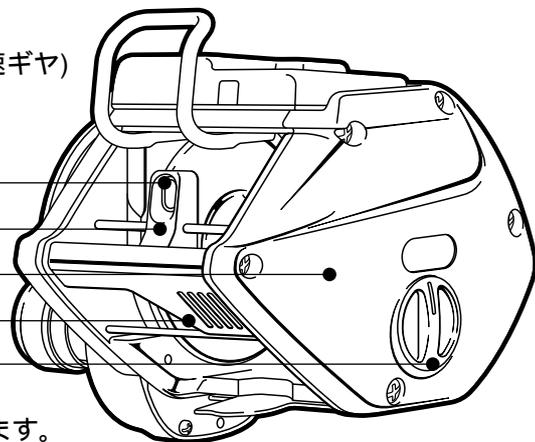
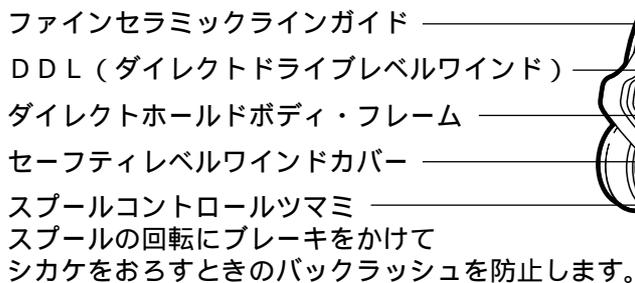
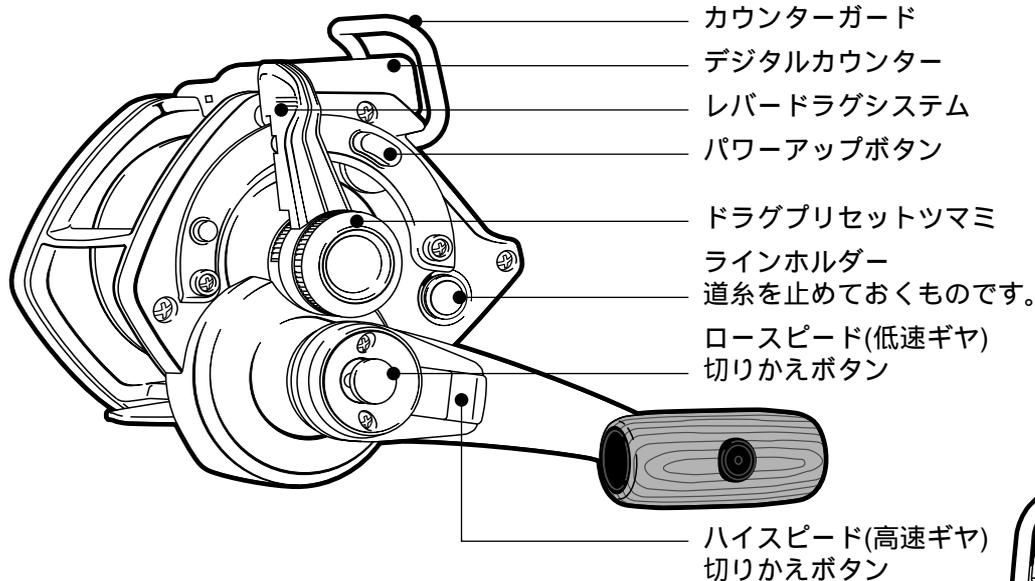
ONボタン

電源をONにします。
2秒以上押すと
0セットになります。
(6ページ参照)

船べり停止位置を
記憶した時に点灯
します。



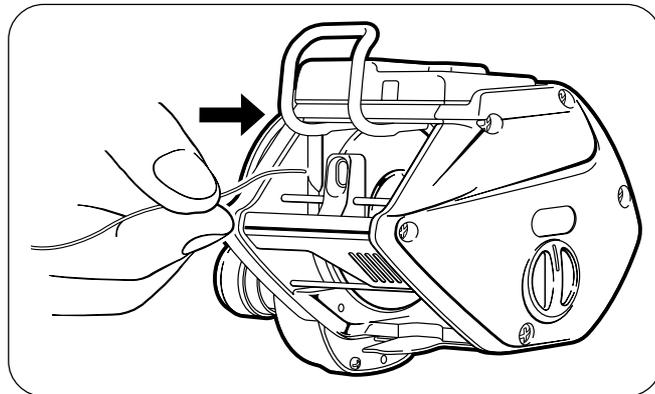
各部の名称



学習方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。
このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。
操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

1 糸をセットします。



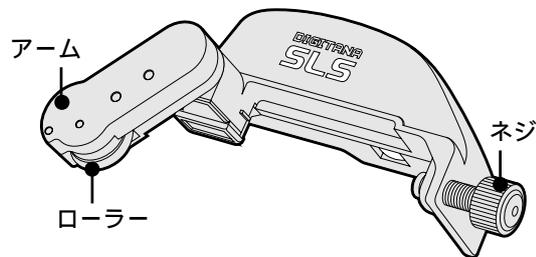
1 糸をレベルwindに通します。

2 糸をスピールのピンに、結んでください。

3 4～5回ハンドルを正転させ、スピールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

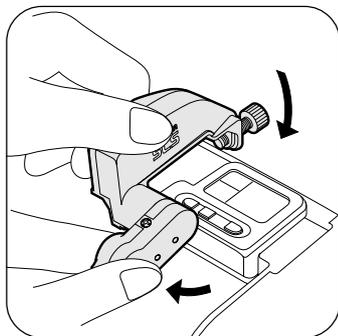
学習方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

2 プログラムを取り付けます。（付属のプログラマP-2をご使用下さい。他のNO.のものは使えません。）

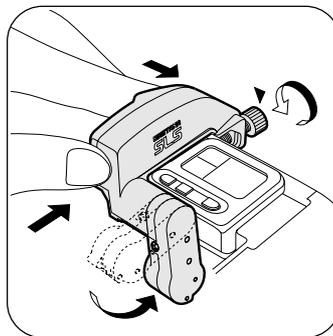


プログラマP-2の各部名称

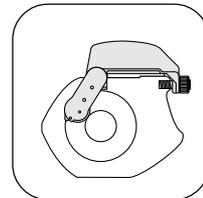
1 まず、プログラマのネジをゆるめま
す。そして、アームが内側に、入り込
まないように、指でアームを起しな
がらセットします。



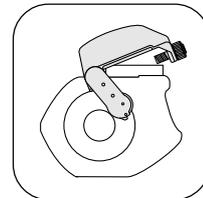
2 図のように表示部の横にピッタリつけ
てセットし、ネジを締めてください。



正しいセット方法



誤ったセット方法



3 糸巻量を記憶させます。

1 電源ONを確認してください。

液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。
点灯していない場合は、ON/Oセットボタンを押して、
電源をONにしてください。

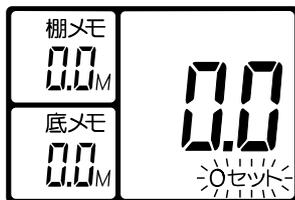
電源をONする方法

ONボタンを押してください。

電源をOFFする方法

30分以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。

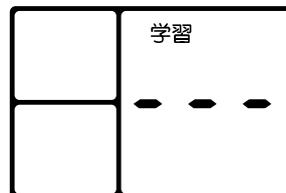
ご自分でOFFにされる場合は“棚メモ”と“底メモ”の
ボタンを同時に3秒以上押し続けてください。



2 糸を巻いてください。

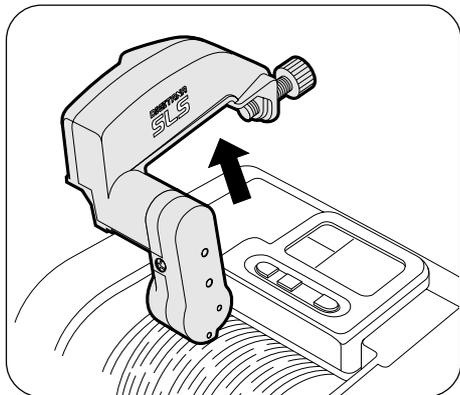
実際に釣りをするときと、同じくらいのテンションで、
糸を巻いてください。
(約500g程度のテンションを目安にしてください。)

3 糸を巻き始めると、デジタル表示が、図のようになります。



学習方法（使用するラインをリールに記憶させます。）

- 4 糸を完全に巻き終えたらネジをゆるめて、プログラマをはずしてください。



プログラマは糸巻学習時のみ使用します。
実釣時には、不用です。

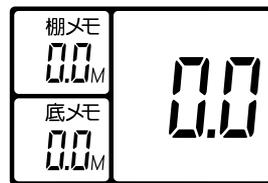
- 5 底メモ、棚メモ、ON/Oセットボタンのいずれかを、押してください。



（例：300m巻いた場合）

2回連続音が鳴り、巻かれた糸の量と、「OK」の表示が、
出ます。（巻き取り長さが26m以下ですと、「OK」の
表示が出ず学習されません。）

- 6 これで学習は完了です。



学習が終わると、カウンターが「0.0」になります。

0(ゼロ)セットの設定(釣りを始める前に必ず行ってください。)

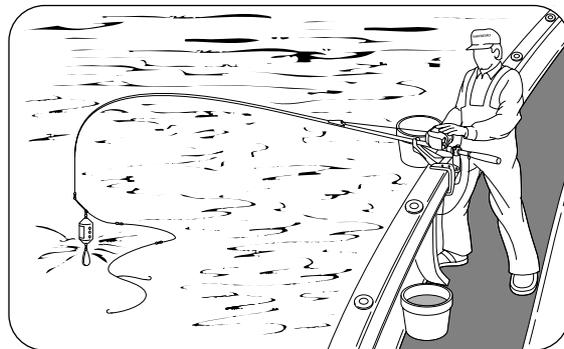
4 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには正確な棚取りが不可欠です。

そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定します。

「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。

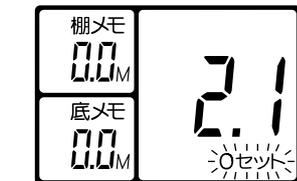


シカケが水面にある時を0mとして設定します。

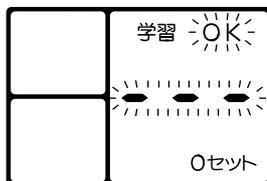
1 シカケを水面に合わせ、ON/0セットボタンを2秒以上押しして下さい。

2 下図のように表示が変わります。アラームが鳴り、バー表示、OK表示が点灯します。

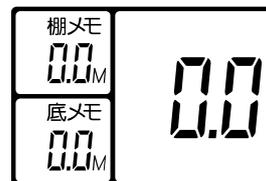
3 これで0セットは完了です。



2秒以上押す



ピッピッ



0(ゼロ)セットについて

5 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。次に糸を出すと、0セットされた位置からカウントが始まります。

注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

6 高切れした場合。

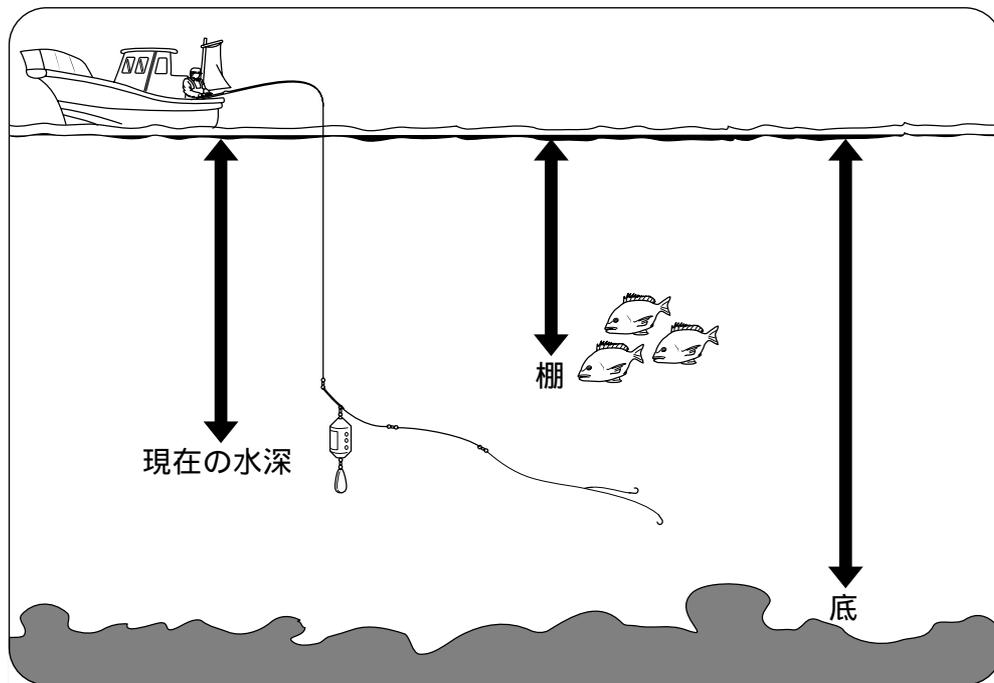
高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度1、2の順で0セットを行なってください。これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

底メモと棚メモの2つのメモリー

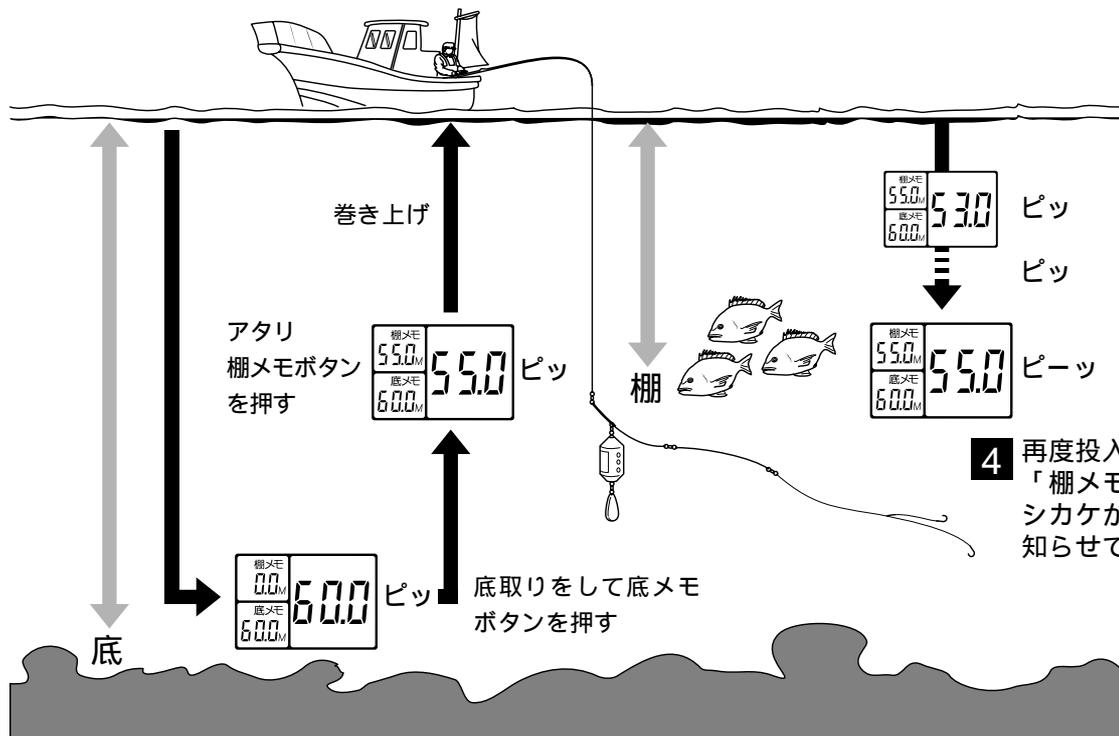
7 底メモと棚メモを活用しましょう。

一般的に船長が、魚群探知機で、魚のいる棚やシカケを入れる水深を見ます。そして、上から何m、または底から何mというように指示してくれます。

その水深に正確にシカケを持っていくことが釣果アップのポイントです。そこでこの2つのメモリーを次ページのように活用して下さい。



底メモと棚メモの実釣編



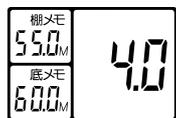
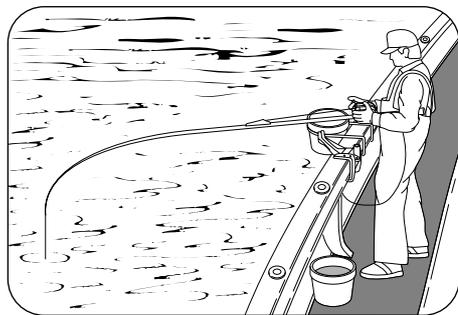
- 1** シカケをいったん底につけます。
この時に「底メモ」のボタンを押して
底の水深をメモリーさせます。
- 2** シカケを巻いて棚に持ってきま
す。これで「底メモ」と現在の水深と
の差が「底から何m」であることを教
えてくれます。
- 3** アタリがあれば「棚メモ」ボタン
を押して棚をメモリーします。

船ベリアラーム

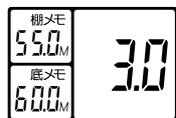
8 船ベリアラームが自動的にセットされます。

巻き上げを終え、竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来れば、コマセの詰め替え、エサ付けがスムーズに行なえ、手返しを早くすることができます。

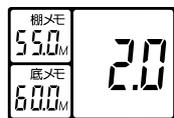
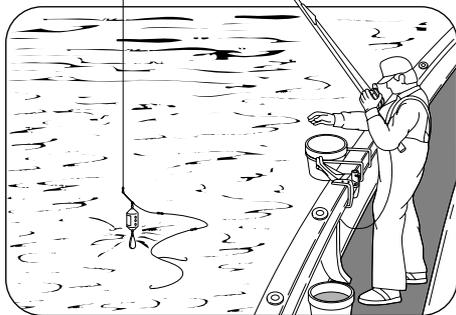
そこでこのリールでは、シカケが手元にある状態を毎回コンピュータが自動的に記憶します。ですから、船ベリの長音「ピーッ」アラームが鳴った時に竿を立てると、シカケが正確に手元にとどきます。



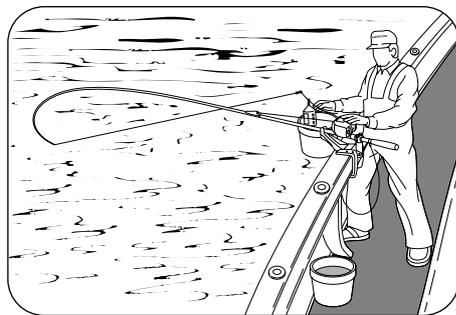
ピッ



ピッ



ピーッ



(注・竿の長さや、シカケの位置等、諸条件により、船ベリアラーム時のカウンターの数値はかわります。)

1 アラームは、記憶した船ベリ停止位置よりも、2 m手前から、3回鳴ります。

2 「ピッ、ピッ、ピーッ」と3回目
の長い「ピーッ」で、

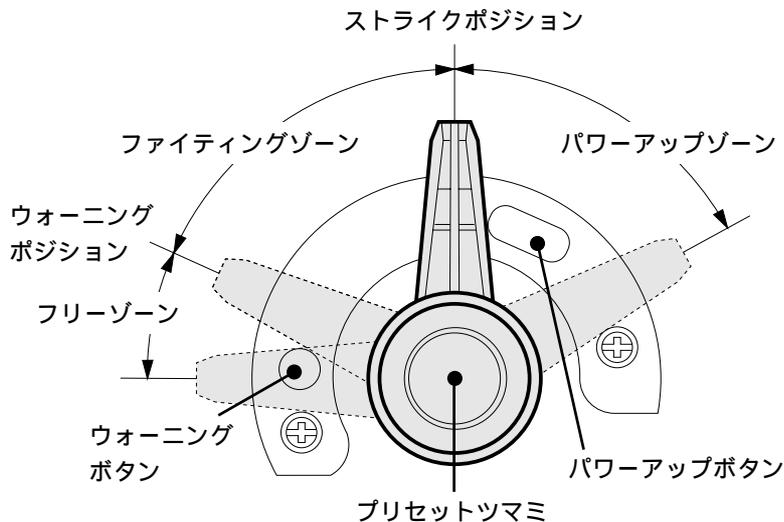
3 巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。

レバードラグシステムの操作方法

9 スプールフリーから最大ドラグまで簡単操作。

デジタナS L Sレバードラグ2スピードに組み込まれたレバーは、スプールフリーから最大ドラグ力まで、極めて簡単に操作できる画期的メカニズムです。

また、デジタナS L Sレバードラグシリーズには専用の大型ドラグワッシャが組込まれています。このドラグがスムーズ&ハイパワーを可能にしました。



パワーアップゾーン

設定以上のドラグ力が必要になった時には、パワーアップボタンを押しながらドラグレバーを右に倒して下さい。

ウォーニング・ポジション

ドラグレバーをこの位置より左に倒すと、スプールがフリーの状態になります。すなわち今までの両軸リールのクラッチの役割をします。これでシカケが抵抗なくスムーズに落とし込めます。

ストライク・ポジション

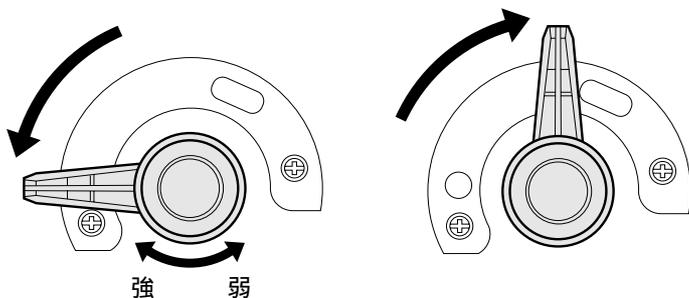
ドラグレバーを右にするとパワーアップボタンの手前で止ります。これがストライクポジションです。魚とのやりとり、ファイトはこのストライクポジションとウォーニングポジションとの間のレバー操作で行ないます。ここがファイティングゾーンです。

10 ドラグの設定方法。

1 リールを使用する竿に取り付けて糸をガイドに通します。

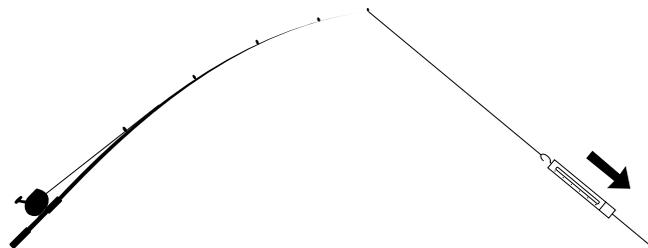
2 糸をバネバカリに取り付けます。

3 ドラグレバーをフリーゾーンまで倒しプリセットつまみを調節します。次にドラグレバーをストライクポジションにします。



4 竿を固定（保持）し、適正な張力で出ていくこと（ドラグが働いている）をバネバカリで確認します。

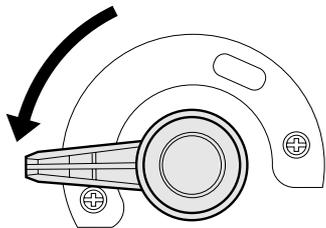
5 もしこれで設定しようとするドラグ力でないならばドラグレバーをフリー・ゾーンにもう一度もどして3と4の調節を行います。



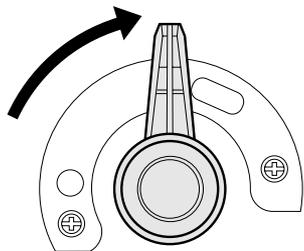
レバードラグシステムの操作方法

11 実釣で生きるレバー操作。

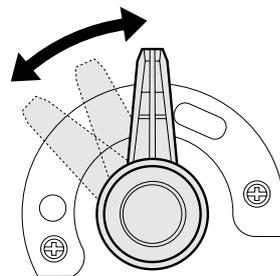
- 1** シカケ、エサをセットしたらドラグレバーを一番手前に倒します。スプールはフリーになりシカケがスムーズに落ちていきます。



- 2** シカケがタナに届いたらレバーをストライク・ポジションにします。こうすれば事前に設定したドラグ力になります。このままでアタリを待ちます。



- 3** 魚の引きの強さ、スピードによってドラグレバーでドラグを調整してください。ドラグのスムーズ性とレバーの操作性にきつとご満足いただけると思います。



注意：

ウォーニングポジションでレバーは、ウォーニングボタンに当たって軽く止りますが、これは注意を促すための仮止りにすぎません。さらに力を加えますとフリーゾーンに入ってしまうのでファイティング中はご注意ください。

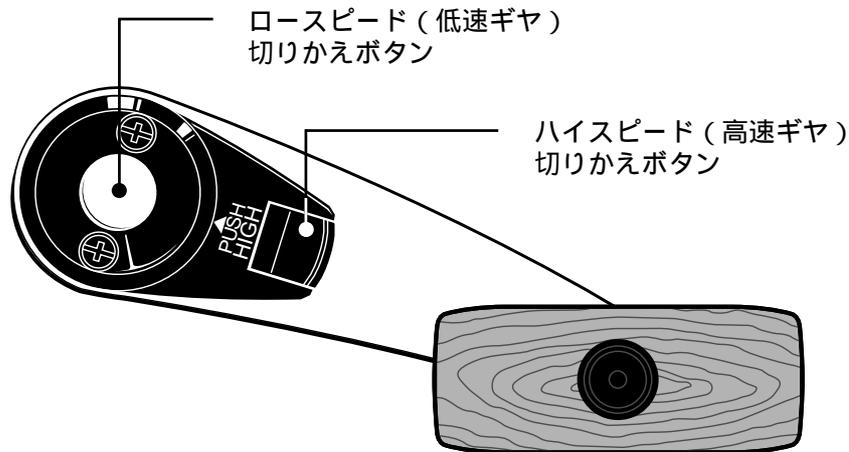
2スピードギヤについて

12 わずらわしい操作は不用！

ハイスピードからロースピードへ、ロースピードからハイスピードへ、いずれの変速もワンタッチ。ボタンを押すだけで瞬時に切りかわります。

ハイスピード / 高速ギヤ
通常はこのスピードで使用します。
素早い巻き上げでカラ巻き時間の短縮ができ、シカケの投入回数の増加にもつながります。

ロースピード / 低速ギヤ
大物がかかった時など、大きな巻き上げ力を必要とする時に切りかえます。また、初心者など、竿のポンピングを利用した巻き上げができない場合でもロースピードなら巻き上げが可能です。



2スピードギヤについて

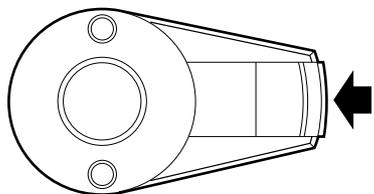
13

ギヤの使用方法。

高速ギヤの場合

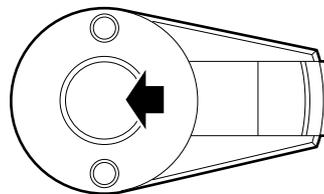
- 1 グレーの“ PUSH HIGH ” ボタンを押します。

この時ロースピードからハイスピードに変速すると、中央の“ PUSH LOW ” ボタンが突出します。また、すでにハイスピードの状態であれば“ PUSH LOW ” ボタンは突出した位置で止まっており“ PUSH HIGH ” ボタンを押しても反応はありません。



低速ギヤの場合

- 2 中央の“ PUSH LOW ” ボタンを「カチッ」と手応えがあるまで押します。



2スピードギヤの応用例

14 デジタナ+レバードラグ+2スピードの機能を活用しましょう。

これらの最新のメカニズムの合体により、様々な状況に的確かつスピーディーな対応を実現しま

す。下記の使用例を見るようにこれら3大機能の組み合わせは、あなたのアイデアやテクニックしだいで無限に可能性をひろげます。

1 デジタナで正確なタナにシカケを投入

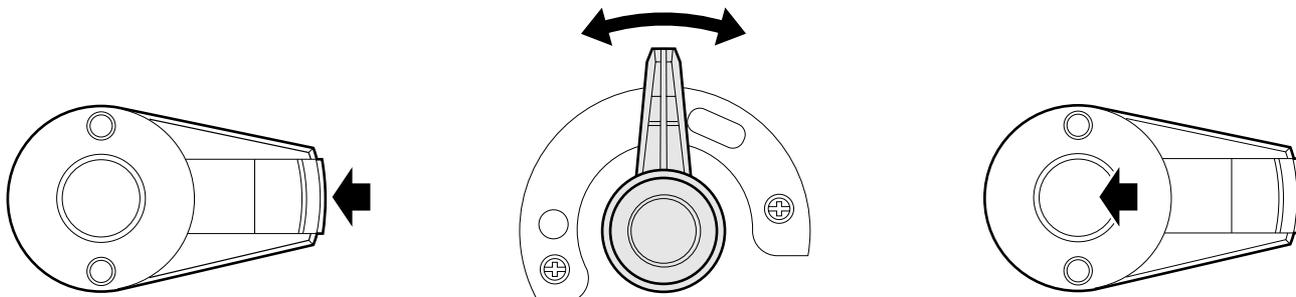
アタリがなければハイスピードですばやくカラ巻きができ、シカケの投入回数の増加につながります。従って、釣果アップが望めます。

2 アタリ

レバードラグで楽々対応。スムーズなドラグ力と、簡単なレバー操作で常に主導権を握れます。

3 意外に大物

意外な大物とやりとりの最中でもワンブッシュでロースピードに変速。強力なトルクで強引に巻き上げる事が可能。



お取り扱い上の注意

デジタナ S L S は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 ご使用上の注意

根掛かりしたときには、竿やリールで無理にあおらないで、糸を手にとって切るようにしてください。

デジタナ S L S はていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

カウンターガードは、カウンター部の保護のために装備したものです。ハーネスなどによって無理な力を加えないでください。

2 お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

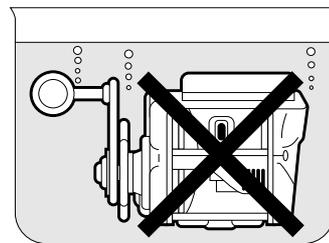
リールは分解しないでください。特にライトサイドプレートは絶対に分解しないでください。

ハンドル部、切り換えレバーなどの可動部分には、リールオイルを注油してください。また、ドラグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラグ力が低下することがあります。ドラグ部分には水が入らないようにしてください。

プログラムのアーム先端のゴムローラには絶対にオイルを付けしないでください。正確な糸巻学習ができなくなります。

高温、高湿の状態では長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水をかけたり、水に浸したりしないでください。
(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水に浸したり、過度に水をかけたりしないでください。)



仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量 (号-m/テトロン糸使用)	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ボールベアリング
デジタナSLS レバードラグ 2スピード 5000	RF275000	4.0:1 1.7:1	14	935	10-300 12-220 15-180	81	64.5/49	5
デジタナSLS レバードラグ 2スピード 6000	RF276000	4.0:1 1.7:1	14	985	12-300 15-250 18-220	81	64.5/60	5

標準附属品：布袋、プログラマ（P-2）、取扱説明書、分解図

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

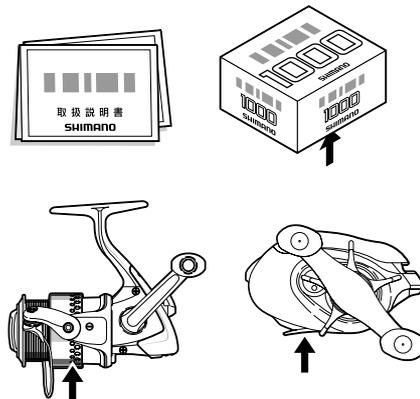
リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例ノストッパーが動かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所、本社サービス課へお問い合わせください。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。（内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをおすすめします。）

例 / 商品名 : バイオマスター 1000
製品コード : SC371000
部品番号 : 2
部品名 : スプール

製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品（コードの上5ケタを表示しています）



故障かな？と思われたときは

こんなとき	操 作	参照
液晶が点灯しない。	ON/OFF ボタンを押して下さい。 他のボタンでは点灯しません。	6
学習状態にならない。	プログラマを正確に取り付けて下さい。 ローラがスプールにきちんと当たっているか確認して下さい。 ON/OFF ボタンを一度押してから再度確認下さい。	5
学習OKにならない。	巻き取り表示が“ 27.0M ”以上あるか確認して下さい。	7
ラインを送り出しても カウントしない。	ON/OFF ボタンを一度押してから再度確認下さい。 お手数ですが再度学習の上確認下さい。	5～7
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。 糸が伸びてマーカが不正確になっているときがあります。	9
液晶表示がうすい。	室温にて確認下さい。極低温（-5 以下）にて使用の場合 内蔵バッテリーの能力低下で表示がうすくなることがあります。 そうでない場合は内蔵バッテリーの寿命と考えられます。 シマノサービスセンターにて交換いたします。（実費）	
ブザーの音に合わせて 液晶がチカチカする。	内蔵バッテリーの消耗によるものです。 その他の機能については問題ありません。 バッテリーは実費にて交換いたします。	

シマノ釣具全国サービスネット

シマノ釣具販売(株)仙台営業所
〒982 仙台市若林区中倉2-21-5(原田ビル1号) ☎(022) 232-4775

シマノ釣具販売(株)大宮営業所
〒331 埼玉県大宮市三橋2-684-1 ☎(0486) 22-3815

シマノ釣具販売(株)東京営業所
〒143 東京都大田区大森南1-17-17 ☎(03) 3744-5656

シマノ釣具販売(株)千葉営業所
〒284 千葉県四街道市美しが丘1-30-1 ☎(043) 433-1780

シマノ釣具販売(株)名古屋営業所
〒454 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 ☎(052) 331-8666

シマノ釣具販売(株)大阪営業所
〒660 兵庫県尼崎市元浜4-85 ☎(06) 418-4541

シマノ釣具販売(株)岡山営業所
〒700 岡山市青江930-12 ☎(086) 264-6100

シマノ釣具販売(株)広島営業所
〒734 広島県広島市南区翠1-11-6 ☎(082) 255-8143

シマノ釣具販売(株)四国営業所
〒768 香川県観音寺市流岡町1496-1 ☎(0875) 23-2220

シマノ釣具販売(株)九州営業所
〒841 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 ☎(0942) 83-1515

シマノ釣具静岡販売(株)
〒410 静岡県沼津市錦町674 ☎(0559) 62-3983

北海道釣具サービスセンター
〒065 札幌市東区北十条東1 ☎(011) 742-6622

シマノ釣具のお問合せ、ご相談は、全国の販売会社、サービスセンター、営業所、もしくは本社までご連絡ください。

株式会社 **シマノ** / 〒590 大阪府堺市老松町3丁77番地

釣具事業部 / ☎(0722) 23-3461

釣具サービス課 / ☎(0722) 43-2851

Printed in Japan (940906) 005

SHIMANO